

平成29年度からの市内循環バス運行方針案

★ デマンドタクシー（利用補助）の実施

→ 交通弱者の移動手段を確保するため、タクシー利用補助を実施する。

※ 補助対象者は、75歳以上の高齢者及び障がい者とし、料金設定や移動可能な場所など、詳細は別途検討する。

★ 東、北東、北西循環コースの車両小型化及び運行時間の見直し

→ 10人乗り程度のワンボックス車に小型化するとともに便数を見直し、運行経費の節減を図る。

※ H26年度 東7,259人 北東11,446人 北西9,123人 西59,237人 南大通116,163人 観光27,793人

★ 北東循環コースの車両小型化と併せた運行ルートの見直し

→ 車両小型化により進入可能となる秩父鉄道武州荒木駅付近に新たな停留所を設置する。

※ 現行ルートで武州荒木駅に最も近い「荒木天満宮前」停留所は、駅から約600m離れている。

★ 西循環コースの回り方及び運行ルートの見直し

→ 午前9時台から午後3時台の便について、回り方を交互に変更する。

→ 平成29年3月開業予定の秩父鉄道新駅にアクセスするよう運行ルートを見直す。

※ 現行は、1便(始発)から11便までが左回り、12便から20便(最終)が右回りで運行している。

★ 75歳以上の利用料金無料化

→ 75歳以上の方の利用料金無料化を図り、高齢者がいきいきと活躍できる機会を確保する。

※ 現行の無料対象者は、未就学児、障がい者、障がい者の介助者1名となっている。

★ 南大通り線、西循環及び観光拠点循環コースの利用料金引き上げ

→ 他コースと比較し利便性の高い上記3コースの利用料金を100円から150円に引き上げる。

※ 路線バス吹上線の運賃は、距離区間制で180円から340円となっている。